

夢創造

平成30年10月26日(金) no.20 文責：上田

▶二十四日(水)、阿蘇教育事務所の学校訪問がありました。教育評価として今後の教育活動に生かします。



校舎改築工事 進行中

ご存じのように昨年より校舎改築工事が進められています。現在は、2期工事として体育館外壁及び旧産山中学校校舎(西校舎)の2階(玄関・副校長室・特別支援教室・保健室・家庭科室)の工事が進められています。今週末からは理科室側の西階段に引き続き、東階段の工事も始まりました。

工事に伴い、給食は1年生から5年生はランチルームで、6・7年生は新しくできた多目的室で行っています。また、西校舎4階の8・9年生は、登校後、職員室前の昇降口から3階メディア前を通り、さらに西階段を4階へ、そして各教室に入るという具合です。不便な生活がしばらく続くこととなりますが、新しい校舎の完成(2月完工)を楽しみにもしています。

工事車両の出入り等で保護者や来校者の皆さんにもご迷惑をおかけします。



家庭での学習習慣の定着

以前、この学園便りでも家庭環境が学力に与える影響について、4月の全国学力・学習状況調査(保護者調査)の新聞記事にふれ、家庭の社会経済的背景(SES)が学力調査の正答率に影響していることをお知らせしました。SESと関係なく学力上位にいる子どもには家庭環境に共通点(下記枠内4点)があることが調査結果として示されています。

さて、家庭学習として学校からの宿題があります。宿題は、その日の学習の復習として出されることが多いようです。「5子どもとの会話」の一つとしても宿題に家族

- 1 規則的な生活習慣
- 2 非認知スキル(自制心や忍耐力など)
- 3 知的好奇心の刺激
- 4 しっかりとした家庭学習**
- 5 子どもとの会話

が関心を示すことは大切なことです。是非、声かけを願います。また、学年によって宿題の課題に教科書の音読があります。これも「3知的好奇心の刺激」につながるように本を図書室から借りて読ませることで高められます。

先般の学校評価(保護者)アンケートで、家庭学習が足りないとお考えの保護者が多数おられるとの結果もあります。家庭と学校が「規則的な生活習慣」を身に付けさせる中で、「**しっかりとした家庭学習**」習慣の定着を図ることが肝要です。

まずは、家庭でも**宿題を必ず提出させることを徹底**させてください。